

令和2年度事業計画及び収支予算書

公益財団法人群馬県馬事公苑

1 事業計画

年度変わりを直前にして、全世界規模で新型コロナウイルスの感染危機にあります。国内でも、県内でも感染拡大阻止のため様々な緊急対策が取られています。日々刻々状況が変わり今後の展開が全く見通せない状況ですが、事態が改善し平常になった場合を想定して事業計画を作成しました。

この馬事公苑は、昭和 58 年のあかぎ国体で馬術競技が総合優勝を成し遂げた成果としてその会場跡地に 2 年後に開苑しました。当時乗馬は一部の愛好者だけのものでしたが、群馬県はいち早く一般県民に門戸を開放し、20 頭以上の練習馬を用意し、馬をもっていない人でもいつでも手軽に乗ることができるスポーツ施設に育てました。乗馬は生き物を相手にするスポーツのため動物愛護心を身につけることができます。小さい子供からお年寄りまで幅広い年齢層で楽しめます。青少年の健全育成や高齢者の健康増進に大きく役立っていますので、設立趣旨に添いこの馬事公苑を大切に管理運営いたします。

令和 2 年度は管理運営面で見ると第 5 次指定管理者の 3 年間の 3 年目です。平成 18 年度に始まった指定管理者制度は、平成 24 年度に大幅な変革がありました。馬房に空があれば個人所有馬の飼養管理を請け負う預託業務が出来るようになった一方で、指定管理区分と自主事業区分の分類が大きく変わり、結果として委託管理費が大幅に見直されました。当財団としては、人件費の大幅な圧縮をはかるため平成 25 年度と平成 26 年度に定年退職者が出ましたが正規職員を採用せず臨時職員で間に合わせました。令和元年度に総務・経理担当職員が定年を迎えました。当財団は馬事公苑の指定管理者として責任ある組織運営をする義務があることから、新年度は新規職員を採用し人材育成に取り組みます。

収入確保策としては、利用しやすい各種乗馬教室を開催し底辺を拓げ、乗馬の楽しさを深めるため初心者・中級者・上級者が参加しやすい種目を取り入れた乗馬大会を開催します。さらに、緑の松林に囲まれた環境豊かな施設を売りに大切な馬をお預かりする預託事業の拡充も図ります。さらに一般利用者にも馬事公苑が存続できるよう協力してもらう現行利用料金を維持します。

8 年後の 2028 年度には群馬で二巡目国体の開催が予定されています。県馬術連盟が平成 29 年度より取り組んだ県スポーツ協会のスーパーキッズ事業はジュニア選手層の利用拡大に繋がっています。今後も関係諸団体と協力関係を大切にしてゆきます。

(1) 委託管理事業

「群馬県馬事公苑の管理及び運営に関する基本協定書」及び「群馬県馬事公苑管理及び運営に関する年度協定書」に基づき、群馬県馬事公苑の設置および管理に関する条例に従い、馬事公苑を管理し、県民の動物愛護心を涵養するとともに、馬に関する知識の普及と理解の促進、乗馬技術の向上に努める。

ア. 委託事業の実施

通常乗馬、乗馬教室及び馬術大会等の積極的な利用促進により馬場、厩舎等の利用料金の増収を図る。

イ. 施設の維持管理

来苑者が安全かつ快適に利用できるように、馬の良好な飼養管理と乗馬環境の適正な維持管理に努める。

(2) 主な自主事業

ア. 乗馬の普及・啓発事業

初心者には、乗馬を始めるきっかけを提供し基礎・基本からわかりやすく指導し、中級者、上級者にはレベルや目的に合わせた豊富な内容を提供し、楽しい乗馬を通し、乗馬人口の定着化と技術向上を図る。

(ア) 通常乗馬利用のビジター制の継続

主要事業である通常乗馬利用に対しては、管理運営業務仕様書に定められた事項を堅持した上で、開苑当初からのビジター制を継続しすべての利用者に公平、平等な乗馬利用の機会を提供する。

通常乗馬の成果目標

	区 分	30年度実績	元年度見込み	2年度計画
通常乗馬 (鞍数)	高校生以下	1, 0 4 9	1, 2 0 0	1, 2 0 0
	一 般	5, 1 5 9	5, 0 8 8	5, 4 0 0
	計	6, 2 0 8	6, 2 8 8	6, 6 0 0

(イ) 馬事公苑の利用を促進するため、初心者向け乗馬教室、講習会等を開催し、広く利用機会を提供して乗馬人口の拡大を図る。

- ・ 体験乗馬4回コース
- ・ ステップアップ乗馬教室、レベルアップ乗馬教室
- ・ 50才以上の方を対象にした体験乗馬4回コース（年2回）

- ・お手入れ講習会
- (ウ) 利用回数券の販売
 - ・利用者の利便性を考慮し、料金を割り引いた回数券を販売し、継続利用の促進を図る。

(エ) 積極的なPR

広く馬事公苑の存在をアピールするため、ホームページ、SNSを活用し、利用者への情報発信を定期的に行い、馬事公苑の周知を図る。

情報誌、新聞等各種メディアに情報提供により馬事公苑の紹介及び有料広告を掲載し、利用促進を図る。

イ. 青少年の健全育成事業

次世代を担う子どもたちに動物とのふれあいの場の提供と動物愛護の精神を養い乗馬技術の向上を図ることで、乗馬のきっかけや楽しさを提供する。

(ア) 子供向け体験乗馬教室

- ・春・夏・冬休み、秋、こどもの日体験乗馬教室
(年7回 小学3年生～高校生までもを対象に開催)
- ・親子の体験乗馬教室(年3回)

初心者の親子を対象に乗馬を始めるきっかけの場を提供し、楽しさ、家族の理解を深めてもらう。

(イ) 乗馬少年団の活動

県内在住の小学5年生から高校生を対象に、馬に関する知識の総合的な習得、乗馬訓練を通して、青少年の育成に寄与する。

(ウ) 引き馬乗馬、馬とのふれあい体験の移動教室

近隣の周辺施設やイベント会場に出張して、ポニーによる引き馬乗馬又は馬とのふれあい体験を実施し、乗馬の楽しさを提供する。

ウ. 馬術競技の振興と競技技術の向上

施設を有効的に活用し、馬術競技の振興と競技技術の向上を図る。

(ア) 公苑乗馬大会の開催

乗馬技術の向上と利用者間の親睦を目的にした乗馬大会を年間5回開催する。内2回は、日馬連公認種目を取り入れ、群馬近県の乗馬愛好家に群馬県馬事公苑の存在をアピールし、利用料金の増収を図る。

(イ) 日本馬術連盟認定B・C級騎乗者資格技能審査会の開催

馬事知識および乗馬技術向上のため、県馬術連盟の協力を得て実施する。

エ. 福祉、教育機関との連携協力

乗馬を通じた青少年の育成、動物とのふれあいなどの教育活動に協力する。

(ア) 各地の学校、育成団体及び保育園等による乗馬体験、引き馬乗馬体験

(イ) 福祉施設や教育機関等が行う障害児・不登校児・自閉症児の乗馬体験活動
には、ほぼマンツーマン形式の指導による協力

(ウ) 高校生以下の団体の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

オ 馬具用品等の物品の販売

利用者が快適な乗馬を楽しむことができるように、乗馬用品の販売を県と事前協議の上実施する。

カ 預託馬事業の実施

個人所有者の乗用馬を公苑施設内において飼育管理業務を行う預託馬事業を実施する。

(3) 事業協力

ア. 群馬県馬術連盟主催馬術大会及び強化練習

イ. 第75回国民体育大会

ウ. 県民の日無料体験乗馬

エ. 第31回酪農畜産フェスティバル

オ. 国立大学対抗馬術大会

カ. 教育・福祉施設等への協力

キ. 地元富士見町との協調、協力体制

ク. その他各種行事、取材等への協力

ケ. 周辺施設との協力体制

令和2年度 群馬県馬事公苑事業計画

月	実施事業	協力事業
4	乗馬少年団入団式 春休み体験乗馬教室 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室 お手入れ講習会	第9回天野健太郎メモリアルカップ大会 (第75回国民体育大会群馬県選手選考馬術大会)
5	こどもの日体験乗馬教室 B・C級騎乗者資格技能審査会 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室	初夏群馬県馬術大会
6	ナイター乗馬開始(～10月) 第1回公苑乗馬大会 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室 親子乗馬教室	
7	夏休み体験乗馬教室 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室	赤城ふれあいの森まつり(引き馬体験)
8	夏休み体験乗馬教室 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室	筑波大学附属高校馬術部夏合宿
9	第13回あかぎ杯公苑乗馬大会(公認大会) 親子乗馬教室 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室	
10	第2回公苑乗馬大会 50才からの体験乗馬4回コース 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室 お手入れ講習会	酪農畜産フェスティバル体験乗馬 みどり市笠懸地区ひまわり花畑まつり事業協力 群馬県削蹄師会イベント 県民の日ポニー体験乗馬 伊勢崎市教育研究所体験活動
11	第3回公苑乗馬大会 秋のチャレンジ乗馬教室 親子乗馬教室 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室	秋季群馬県馬術大会
12	初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室 冬休み体験乗馬教室	国立大学対抗馬術大会

【年末営業】

令和2年度 群馬県馬事公苑事業計画

月	実施事業	協力事業
1	初乗り乗馬会 【年始営業】 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室	
2	初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室 親子乗馬教室 お手入れ講習会	
3	第14回あかぎ杯公苑乗馬大会（公認大会） 春休み体験乗馬教室 50才からの体験乗馬4回コース 初心者乗馬教室4回コース ステップアップ乗馬教室 レベルアップ乗馬教室 乗馬少年団終了式	早春県馬術大会

令和2年度収支予算書（正味財産増減計算ベース）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：千円）

科目	2年度予算額 (A)	元年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	714	1,215	△ 501	
指定正味財産より振替額	714	1,215	△ 501	
② 特定資産運用益	3	4	△ 1	
特定資産受取利息	3	4	△ 1	
③ 受取補助金等	18,667	18,667	0	
指定管理受託料	18,667	18,667	0	
④ 事業収益	58,763	58,997	△ 234	
利用料金収益	6,597	6,866	△ 269	
自主事業収益	52,166	52,131	35	
乗馬指導収益	28,560	28,879	△ 319	
調教等収益	3,904	4,200	△ 296	
引き馬乗馬収益	673	747	△ 74	
預託料収益	6,996	6,936	60	
乗馬教室収益	4,660	3,869	791	
乗馬大会収益	5,429	5,276	153	
馬術技能審査会収益	259	230	29	
少年団収益	1,685	1,670	15	
その他収益	0	324	△ 324	
⑤ 受取寄附金	0	3,000	△ 3,000	
指定正味財産より振替額	0	3,000	△ 3,000	
⑥ 雑収益	790	1,169	△ 379	
受取利息	0	0	0	
雑収益	790	1,169	△ 379	
経常収益計	78,937	83,052	△ 4,115	
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	1,382	1,382	0	
給料手当	18,607	21,213	△ 2,606	
賞与引当金繰入	1,703	2,044	△ 341	
退職給付費用	1,291	1,506	△ 215	
臨時雇賃金	15,807	15,625	182	
臨時職員	12,327	12,375	△ 48	
臨時その他	3,480	3,250	230	
イベント用賃金	1,116	1,058	58	
福利厚生費	4,794	5,400	△ 606	

(単位：千円)

科 目	2年度予算額 (A)	元年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備考
旅費	370	534	△ 164	
報償費	530	539	△ 9	
需用費	4,542	4,803	△ 261	
食糧費	287	284	3	
消耗品費	947	849	98	
燃料費	327	297	30	
印刷製本費	160	243	△ 83	
光熱水費	2,200	2,075	125	
修繕費	621	1,055	△ 434	
役務費	2,127	4,353	△ 2,226	
通信運搬費	330	340	△ 10	
宣伝広告費	353	512	△ 159	
諸謝金	0	300	△ 300	
手数料	289	286	3	
保険料	1,155	1,115	40	
堆肥運搬費	0	1,800	△ 1,800	
飼育費	11,300	10,631	669	
飼料費	6,650	6,265	385	
敷料費	1,690	1,618	72	
装蹄費	1,940	1,856	84	
衛生費	720	539	181	
飼育消耗備品費	300	353	△ 53	
馬購入費	300	500	△ 200	
委託費	3,114	1,602	1,512	
使用料及び賃借料	289	290	△ 1	
消耗什器備品費	578	550	28	
減価償却費	15	14	1	
負担金	71	71	0	
租税公課	4,472	4,101	371	
雑費	0	0	0	
事業費計	72,408	76,216	△ 3,808	
② 管理費				
役員報酬	1,618	1,618	0	
給料手当	1,626	2,546	△ 920	
賞与引当金繰入	138	200	△ 62	
退職給付費用	64	172	△ 108	
臨時雇賃金	911	0	911	
臨時職員	911	0	911	
臨時その他	0	0	0	
福利厚生費	501	833	△ 332	
旅費	72	91	△ 19	

(単位：千円)

科 目	2年度予算額 (A)	元年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備考
需用費	692	627	65	
食糧費	18	15	3	
消耗品費	167	125	42	
燃料費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
光熱水費	507	487	20	
役務費	263	225	38	
通信運搬費	81	72	9	
手数料	182	153	29	
使用料及び賃借料	41	41	0	
消耗什器備品費	100	0	100	
租税公課	503	483	20	
雑費	0	0	0	
管理費計	6,529	6,836	△ 307	
経常費用計	78,937	83,052	△ 4,115	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,784	1,888	△ 104	
一般正味財産期末残高	1,784	1,888	△ 104	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	1,206	1,206	0	
受取指定寄附金	0	3,000	△ 3,000	
一般正味財産への振替額 (受取利息)	△ 1,206	△ 1,206	0	
一般正味財産への振替額 (寄附金)	0	△ 3,000	3,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0	
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0	
III 正味財産期末残高	201,784	201,888	△ 104	

注) 管理受託収入は、公益目的事業65%、法人会計35%にて配賦した。

令和2年度 収支予算書（正味財産増減計算ベース）内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人群馬県馬事公苑

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会計	法人会計 (管理費)	令和2年度 予算	令和元年度 予算	差異	令和元年度 見込み	平成30年度 実績
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	714,000	0	714,000	1,215,000	△ 501,000	1,215,728	1,215,593
指定正味財産より振替額	714,000	0	714,000	1,215,000	△ 501,000	1,215,728	1,215,593
② 特定資産運用益	3,000	0	3,000	4,000	△ 1,000	3,685	3,479
特定資産受取利息	3,000	0	3,000	4,000	△ 1,000	3,685	3,479
③ 受取補助金等	12,138,000	6,529,000	18,667,000	18,667,000	0	18,667,000	18,667,000
指定管理受託料	12,138,000	6,529,000	18,667,000	18,667,000	0	18,667,000	18,667,000
④ 事業収益	58,763,000	0	58,763,000	58,997,000	△ 234,000	52,961,610	49,699,460
利用料金収益	6,597,000	0	6,597,000	6,866,000	△ 269,000	6,187,310	6,022,290
自主事業収益	52,166,000	0	52,166,000	52,131,000	35,000	46,774,300	43,677,170
乗馬指導収益	28,560,000	0	28,560,000	28,879,000	△ 319,000	27,062,400	26,656,100
調教等収益	3,904,000	0	3,904,000	4,200,000	△ 296,000	3,903,500	2,242,500
引き馬乗馬収益	673,000	0	673,000	747,000	△ 74,000	394,100	735,250
預託料収益	6,996,000	0	6,996,000	6,936,000	60,000	6,919,700	4,837,320
乗馬教室収益	4,660,000	0	4,660,000	3,869,000	791,000	3,181,900	2,918,200
乗馬大会収益	5,429,000	0	5,429,000	5,276,000	153,000	3,682,200	4,914,300
馬術技能審査会収益	259,000	0	259,000	230,000	29,000	239,500	249,500
少年団収益	1,685,000	0	1,685,000	1,670,000	15,000	1,391,000	1,081,000
その他収益		0	0	324,000	△ 324,000	0	43,000
⑤ 受取寄付金	0	0	0	3,000,000	△ 3,000,000	5,000,000	3,050,000
指定正味財産より振替額	0	0	0	3,000,000	△ 3,000,000	5,000,000	3,050,000
⑥ 雑収益	790,000	0	790,000	1,169,000	△ 379,000	1,019,270	1,445,091
受取利息	0	0	0	0	0	29	48
雑収益	790,000	0	790,000	1,169,000	△ 379,000	1,019,241	1,445,043
経常収益計	72,408,000	6,529,000	78,937,000	83,052,000	△ 4,115,000	78,867,293	74,080,623
(2) 経常費用			0	0	0		
役員報酬	1,382,000	1,618,000	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000
給料手当	18,607,000	1,626,000	20,233,000	23,759,000	△ 3,526,000	23,615,268	25,082,286
賞与引当金繰入額	1,703,000	138,000	1,841,000	2,244,000	△ 403,000	1,711,553	1,716,089
退職給付費用	1,291,000	64,000	1,355,000	1,678,000	△ 323,000	1,677,790	1,756,080
臨時雇賃金	15,807,000	911,000	16,718,000	15,625,000	1,093,000	14,525,273	13,164,844
臨時職員	12,327,000	911,000	13,238,000	12,375,000	863,000	11,025,173	11,845,724
臨時その他	3,480,000	0	3,480,000	3,250,000	230,000	3,500,100	1,319,120
イベント用賃金	1,116,000	0	1,116,000	1,058,000	58,000	612,800	1,022,400
福利厚生費	4,794,000	501,000	5,295,000	6,233,000	△ 938,000	5,705,573	6,194,641
旅費	370,000	72,000	442,000	625,000	△ 183,000	276,100	467,310
報償費	530,000	0	530,000	539,000	△ 9,000	344,043	541,222
需用費	4,542,000	692,000	5,234,000	5,430,000	△ 196,000	5,156,057	5,260,245
食糧費	287,000	18,000	305,000	299,000	6,000	202,309	293,084

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	法人会計 (管理費)	令和2年度 予算	令和元年度 予算	差異	令和元年度 見込み	平成30年度 実績
消耗品費	947,000	167,000	1,114,000	974,000	140,000	984,582	959,020
燃料費	327,000	0	327,000	297,000	30,000	317,259	296,230
印刷製本費	160,000	0	160,000	243,000	△ 83,000	104,353	211,584
光熱水費	2,200,000	507,000	2,707,000	2,562,000	145,000	2,684,243	2,531,940
修繕費	621,000	0	621,000	1,055,000	△ 434,000	863,311	968,387
役務費	2,127,000	263,000	2,390,000	4,578,000	△ 2,188,000	4,074,327	3,242,827
通信運搬費	330,000	81,000	411,000	412,000	△ 1,000	399,654	368,333
宣伝広告費	353,000	0	353,000	512,000	△ 159,000	87,120	210,600
諸謝金	0	0	0	300,000	△ 300,000	0	0
手数料	289,000	182,000	471,000	439,000	32,000	343,154	437,350
保険料	1,155,000	0	1,155,000	1,115,000	40,000	1,236,117	1,095,998
堆肥運搬費	0	0	0	1,800,000	△ 1,800,000	2,008,282	1,130,546
飼育費	11,300,000	0	11,300,000	10,631,000	669,000	12,378,023	8,009,590
飼料費	6,650,000	0	6,650,000	6,265,000	385,000	7,739,863	3,951,516
敷料費	1,690,000	0	1,690,000	1,618,000	72,000	1,591,808	1,271,808
装蹄費	1,940,000	0	1,940,000	1,856,000	84,000	1,943,400	1,816,600
衛生費	720,000	0	720,000	539,000	181,000	831,950	550,930
飼育消耗備品費	300,000	0	300,000	353,000	△ 53,000	271,002	418,736
馬購入費	300,000	0	300,000	500,000	△ 200,000	202,000	124,200
委託費	3,114,000	0	3,114,000	1,602,000	1,512,000	1,177,993	1,754,128
使用料及び賃借料	289,000	41,000	330,000	331,000	△ 1,000	330,373	230,231
消耗什器備品費	578,000	100,000	678,000	550,000	128,000	41,904	143,402
租税公課	4,472,000	503,000	4,975,000	4,584,000	391,000	4,062,300	3,770,000
負担金	71,000	0	71,000	71,000	0	65,000	69,600
減価償却費	15,000	0	15,000	14,000	1,000	15,000	13,750
雑費	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	72,408,000	6,529,000	78,937,000	83,052,000	△ 4,115,000	78,971,377	75,562,845
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	△ 104,084	△ 1,482,222
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	△ 104,084	△ 1,482,222
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
① 基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 104,084	△ 1,482,222
一般正味財産期首残高			1,784,000	1,888,000	△ 104,000	1,888,943	3,371,165
一般正味財産期末残高			1,784,000	1,888,000	△ 104,000	1,784,859	1,888,943

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	法人会計 (管理費)	令和2年度 予算	令和元年度 予算	差異	令和元年度 見込み	平成30年度 実績
II 指定正味財産増減の部							
基本財産受取利息			1,206,000	1,206,000	0	1,215,930	1,215,939
受取指定寄付金		0	0	3,000,000	△ 3,000,000	5,000,000	3,050,000
一般正味財産への振替額(受取利息)			△ 1,206,000	△ 1,206,000	0	△ 1,215,728	△ 1,215,593
一般正味財産への振替額(寄附金)			0	△ 3,000,000	3,000,000	△ 5,000,000	△ 3,050,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	202	346
指定正味財産期首残高			200,000,000	200,000,000	0	199,999,798	199,999,452
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000	200,000,000	0	200,000,000	199,999,798
III 正味財産期末残高		0	201,784,000	201,888,000	△ 104,000	201,784,859	201,888,741

注) 管理受託収入は、公益目的事業65%、法人会計35%にて配賦した。

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

- (1) 資金調達の見込みについて
当期中に借入れによる資金調達の予定はありません。

- (2) 設備投資の見込みについて
当期中に重要な設備投資（除却または売却を含む）の予定はありません。